

短期認定留学 体験談

商学部ホスピタリティ・マネジメント学科 佐崎 弥花

1. 短期認定留学を申し込んだ動機について

私は高校生の頃から留学したいと思っていて、友人が夏休みにサマープログラムでイギリスへ留学していたので、私も春休みに挑戦してみようと思ったからです。また、ニュージーランドが私の好きな映画のロケ地だったからです。



2. 留学前の準備について

ニュージーランドに留学するにあたって、現地の気候や歴史、8年前に起こった大地震についてインターネットで調べていきました。日本でも2011年に東日本大震災が起こり、2016年には熊本地震があったので、他人事とは思えず復旧が進んでいるニュージーランドだけではなく、8年前のニュージーランドを知ることが大切だと思いました。

準備物としては、日本製の風邪薬や胃薬、いつも飲んでいる薬を日本から持って行きました。またニュージーランドは南半球で季節が日本と逆で、私は絶対に日焼けをしたくなかったので、日本製の日焼け止めクリームを3つ持って行きました。現地の物だと日本人の肌に合わない可能性があり、さらに現地の日焼け止めクリームは大きくて高かったです。

携帯については、約1か月滞在するニュージーランドでインターネットが全く使えないという状況にならないように、ニュージーランドの携帯の通信環境についても調べていきました。私の友人の多くは、ポケットWi-Fiを借りて使用していました。私はSIMフリーの携帯を持っているので、現地のSIMを買って入れて使っていました。SIMを買う際には、事前にニュージーランドの携帯会社やスマートフォン事情、SIMを買える場所などを調べていきました。

その他には、私は早く現地の英語に慣れて聞き取れるようになりたかったので、海外の好きなアーティストの音楽を日常的に聞くようにしたり、もともと観るのが好きだった洋画を日本語吹き替えなし、日本語字幕で何回も観ていました。私が特に観ていた映画はLord of the RingやHobbitです。またそれらの映画の撮影はニュージーランドで行われているので、そのロケ地を調べたりしていました。

3. 現地での語学コースについて

○コースの内容(授業内容、良かった点、悪かった点、感想など)

私が留学した時は、ちょうど日本や韓国の大学の春休み期間だったので、学校にはたくさんの日本人留学生と韓国人留学生が既にいました。学校では入学した日に行われたライティングテスト、パソコンを使ったリーディング、リスニングのテスト、試験監督と一対一でしたスピーキングテストの結果で、自分のレベルに合ったコースに分けられ授業が行われました。私が入ったクラスは私以外に日本人が一人もいないクラスでした。イラン、アフガニスタン、韓国、中国、香港、タイ、パプアニュー

ーギニアなど様々な国の人が出て、休み時間にはそれぞれの国の言葉を教えあったり、その国の有名なお菓子をもらったりして、とても楽しかったです。

4. 滞在先について(良かった点、悪かった点、感想など)

私は4週間の留学中、一人暮らしのおばあさんの家にホームステイさせてもらいました。ホームステイ先から学校まではバスで10分、徒歩15分ほどで近かったです。毎朝起きたら自分の部屋の窓を開けること、自分のベッドを整えること、朝食は自分で用意すること、夜10時までに帰ってくることがルールだと教えてもらいました。おばあさんは初めての留学で緊張していた私にたくさん話しかけてくれて、とても親切に接してしてくれました。毎日学校から帰ると、今日はどんな一日だった?と聞いてくれたり、私が聞き取れるスピードで話してくれたり、私の拙い英語も笑顔で聞いてくれました。さらに、学校から出された課題でわからない所なども丁寧に教えてくれました。夕食はニュージーランド料理をたくさん作ってくれて、どれも本当に美味しかったです。週末には一緒にショッピングに行ったり、ドライブをして観光名所に連れて行ってくれました。



5. 現地での生活全般について

学校は、月曜日から木曜日までは朝9時から午後3時まで、金曜日は朝9時から午前11時まででした。金曜日の授業終わりは毎週スクールアクティビティがあり、フォレストアドベンチャー、サーフィン、ズンバなどがありました。金曜日以外の放課後は、友人と有名なカフェに行ったり、植物園に行ったり、フリーミュージアムに行きました。



6. 短期認定留学をして、学んだこと、自分が得たもの、参加前の自分とどう変わったか等

前述したように、私のクラスには私以外に日本人がいなかったため、頼れる人もおらず全てを英語で伝えないといけない環境でした。ですから最初の一週間は、言いたいことがうまく相手に伝わらなかったり、会話が成立しなかったりしてとても辛かったです。しかしそういう環境に4週間身を置いたので、留学前よりも英語に少し自信が付き、英語で会話できるというのは楽しいんだと思うことができました。

今回の留学で私は様々なことを経験できました。初めての留学で予想外のことが起こったり、こんなはずじゃなかったのにと嫌になったり、悲しくなったりすることもありました。しかしそれが海外に留学して、海外で生活していくことなんだと気づくことができました。正直、私は留学に行く前は4週間でどれくらい英語力を上げられるかということに重きを置いていました。もちろんそれも重要なことだと思いますが、それ以上に現地に行ってみると見るもの全てが新しい景色で、自分の知らなかった考え方を知ることができたり、日本で過ごしていたら普通と感ずることがニュージーランドでは普通ではないことの驚きを感じることができ、自分の視野が広がっていくのが分かりました。それらは、留学が単なる英語力を上げるためだけのものではないということを教えてくれました。日本にいたらおそらく気づくことは出来ない経験でした。この留学で得たことを忘れずに、私の次の目標である交換留学へ向けて活かしていきたいと思えます。



7. 短期認定留学プログラム全体に対する感想、反省

短期間の留学でしたが海外の文化に触れることができ、ニュージーランドのことだけでなく、日本のことについても改めて知ることができました。様々な国の人と会話することでその国の文化や歴史を知ることができましたし、その国の印象が変わりました。反省点としては、日本のことについて質問を受けた時に、うまく答えられなかったことがあったので、留学前に日本についてもっと知っておくべきだったと反省しました。



8. 休暇のプランの立て方や行った場所など詳しく教えてください。

休日はホストマザーとショッピングや海へドライブに行ったり、友人と観光地へ遊びに行ったりしました。遠くの観光地に行く場合は、事前に計画的にプランを練っておくことをお勧めします。

9. ニュージーランドに持参した現金とカードで使用した金額はどれくらい？

海外は日本とは違いカードでの支払いが多いと聞いたので、私はプリペイドカードを作って15万円ほど入れて持って行きました。

10. 今後派遣される学生へのアドバイス

留学先についてはしっかり調べていくと思いますが、気候には注意してください。ニュージーランドは季節が日本と逆だからといって半袖、短パンだけを持って行くのはやめましょう。ニュージーランドは一日の気温差が激しいので、長袖は2~3着ほどは持って行った方がいいです。私は薄い長袖1着しか持って行ってなかったので、現地で何着か買うことになりました。日本にあるお店もあり安心して買えますが、その分無駄な出費が増えてしまったと反省しています。

クイーンズタウンなど少し離れていますが行きたい観光地がある場合は、早めにしっかりとした計画を立てておきましょう。私はマザーにお勧めされた場所に思いつきで一人で行ったときに帰りのバスを逃してしまって、急遽モーテルで一泊することになりました。しかしそれはそれでいい経験になったと思います。

もし、参加する予定のホエールウォッチングやイルカウォッチング等のツアーで船に乗らないといけない場合は、日本製の酔い止めの薬を持って行った方がいいです。

最後に、今回私が留学している期間中にニュージーランド史上最悪と言われる銃乱射テロ事件が起きました。どんなに治安が良いといわれていても自分は今海外にいるんだということを絶対に忘れないでください。

